

中核研究：要介護者への 支援マネジメントに関する 行政と外部組織の連携

古本 尚樹

目的

- ▶ 大規模災害後の長期的な影響の一つとして、被災者の健康に関する懸念が挙げられる(ex孤独死、災害関連死)。
- ▶ 特に災害弱者と称される高齢者の健康に関して、災害を契機にして変化があったかを調査した。特に被災後長期間で移動を繰り返し、その環境の変化、及び移動回数による健康への影響を考察する。
- ▶ 指標として、要介護度の変化を考察し、被災後の移動した環境とともに健康における状況を調査した。

課題

- ▶ 介護度の変化、すなわち健康への影響の全てに災害による影響があったとは必ずしも言えない（加齢など）。
- ▶ （本日は時間の都合上、調査当時要介護度の認定がされている高齢者のみ、また限定的な内容で報告する。また、）

調査に関して

- ▶ 東日本大震災被災地岩手県大槌町の高齢者(65才以上)を対象に、アンケート調査を配布し、記入してもらった(医療機関や福祉施設関係者、著者による補助を付けた)。

- ▶ 調査は2015年9月

回収数は108(現在要介護度認定者62、それ以外46)

※大槌町の全体の介護認定者数

H25.3: 811人、H26.3: 813人、H27.3: 788人

震災時と調査時の介護度変化(調査時 介護認定有対象)

データの個数 / 震災時の要介護度	調査時の要介護度							
震災時の要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計
要支援1	1	1		2	1			5
要支援2		1	4					5
要介護1		1	2	7	1			11
要介護2				3	5	3	1	12
要介護3				1	2	3		6
なし	3	1	8	8	3			23
総計	4	4	14	21	12	6	1	62

移動回数推移(調査時要介護有対象)

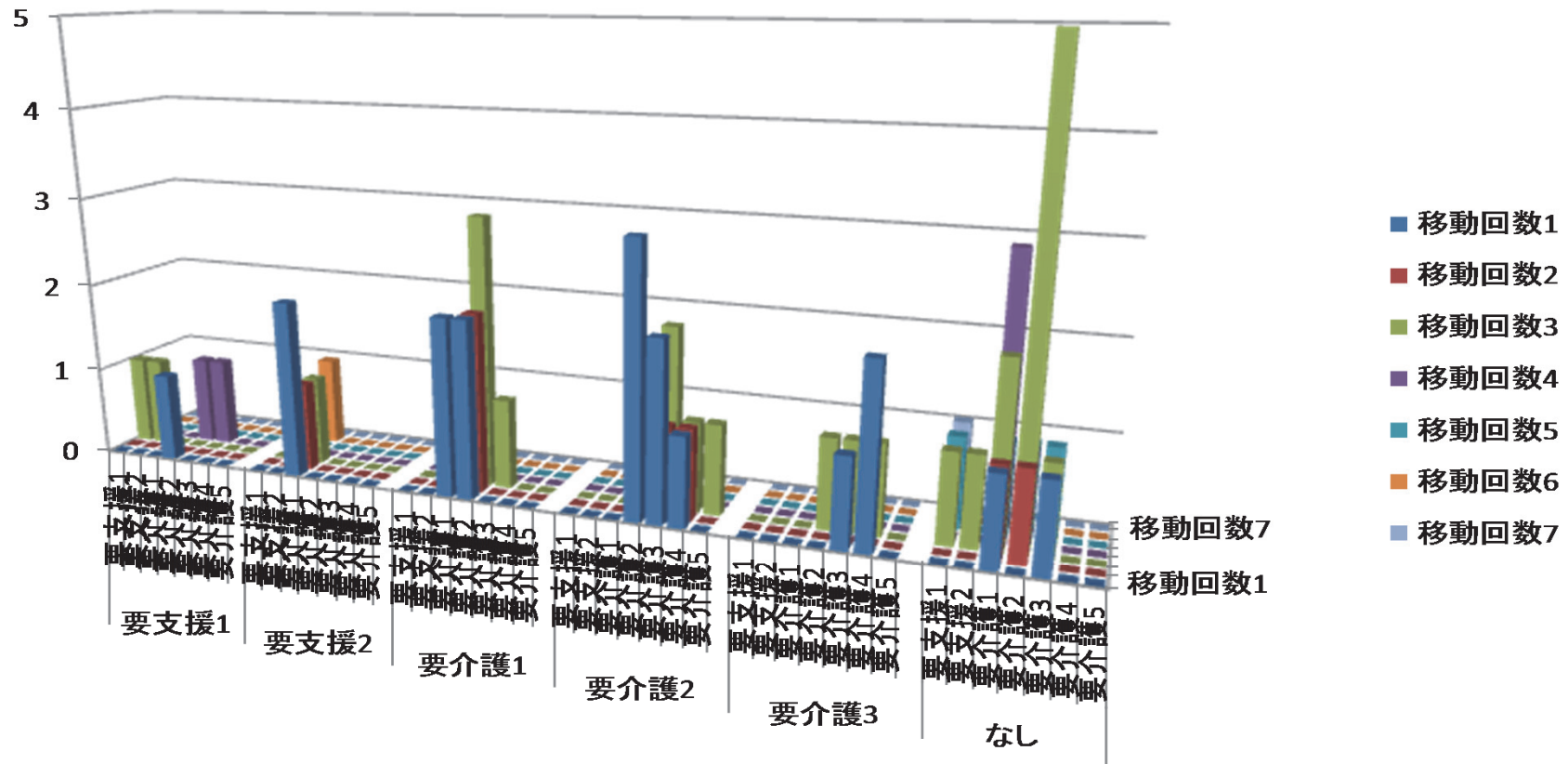
	移動経過回数						
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
79歳以下	4	2	4	2		1	
80歳代	11	5	16	5	3		1
90歳代	3		4		1		
総計	18	7	24	7	4	1	1

移動回数の推移(調査時要介護無対象)

データの個数 / 移動経過回数	移動回数					
年齢層	1回	2回	3回	4回	6回	総計
79歳以下	15	11	4			30
80歳代	8	3				11
90歳代	1			2	1	4
未記入		1				1
総計	24	15	4	2	1	46

データの個数 / 移動経過回数		移動経過回数	移動の回数(町内・町外問わず)と要介護度の変化						
震災時の要介護度	調査時の要介護度	1	2	3	4	5	6	7	総計
	要支援1			1					1
	要支援2			1					1
	要介護2	1			1				2
	要介護3				1				1
1 集計		1		2	2				5
	要支援2						1		1
	要介護1	2	1	1					4
2 集計		2	1	1			1		5
	要介護1				1				1
	要介護1	2							2
	要介護2	2	2	3					7
	要介護3			1					1
3 集計		4	2	4	1				11
	要介護2	3							3
	要介護3	2	1	2					5
	要介護4	1	1	1					3
	要介護5			1					1
4 集計		6	2	4					12
	要介護3			1					1
	要介護3	1		1					2
	要介護4	2		1					3
5 集計		3		3					6
	なし			1		1		1	3
	要支援2			1					1
	要介護1	1	1	2	3	1			8
	要介護2		1	5	1	1			8
	要介護3	1		1		1			3
なし 集計		2	2	10	4	4		1	23
総計		18	7	24	7	4	1	1	62

移動の回数(町内・町外問わず)と要介護度の変化



		データ データの個数 / 町内での移動回 数	移動経過回数					
震災時の 要介護度	調査時の 要介護度	1回	2	3	4	5	6	7
	要支援1			1				
	要支援2			1				
	要介護2	1			1			
	要介護3				1			
1 集計		1		2	2			
	要支援2						1	
	要介護1	2	1	1				
2 集計		2	1	1			1	
	要介護1				1			
	要介護2	2	2	3				
	要介護3			1				
3 集計		4	2	4	1			
	要介護2	3						
	要介護3	2	1	2				
	要介護4	1	1	1				
	要介護5			1				
4 集計		6	2	4				
	要介護3			1				
	要介護3	1		1				
	要介護4	2		1				
5 集計		3		3				
	なし	1		1		1		1
		2		1				
		3	1	2	2	1		
		4		5	1	1		
		5		1		1		
99 集計		1	2	10	3	4		1
総計		18	7	24	7	4	1	1

移動の回数(町外)と要介護度の変化

データの個数 / 町外での移動回数		町外での移動回数			
震災時の要介護度	調査時の要介護度	0	1	2	総計
要支援1	要支援1		1		1
	要支援2	1			1
	要介護2	2			2
	要介護3	1			1
1 集計		4	1		5
要支援2	要支援2			1	1
	要介護1	3		1	4
2 集計		3		2	5
要介護1	要支援2	1			1
	要介護1	2			2
	要介護2	5	2		7
	要介護3	1			1
3 集計		9	2		11
要介護2	要介護2	3			3
	要介護3	2	3		5
	要介護4	2	1		3
	要介護5	1			1
4 集計		8	4		12
要介護3	要介護2	1			1
	要介護3	1	1		2
	要介護4	2	1		3
5 集計		4	2		6
なし	要支援1	2		1	3
	要支援2	1			1
	要介護1	4	2	1	7
	要介護2	6	2		8
	要介護3	1	1		2
なし集計		14	5	2	21
総計		44	14	4	62

家族に犠牲者の有無と要介護度の変化

合計 / 被害状況犠牲者		被害状況犠牲者		
震災時の要介護度	調査時の要介護度	あり1	なし2	総計
要支援1	要支援1	1		1
	要支援2		2	2
	要介護2		4	4
	要介護3	1		1
1 集計		2	6	8
要支援2	要支援2	1		1
	要介護1		8	8
2 集計		1	8	9
要介護1	要支援2	1		1
	要介護1		4	4
	要介護2	3	8	11
	要介護3		2	2
3 集計		4	14	18
要介護2	要介護2		6	6
	要介護3		10	10
	要介護4		6	6
	要介護5		2	2
4 集計			24	24
要介護3	要介護2		2	2
	要介護3		4	4
	要介護4		6	6
5 集計			12	12
なし	要支援1	1	4	5
	要支援2	1		1
	要介護1		14	14
	要介護2	2	12	14
	要介護3	1	2	3
99 集計		5	32	37
総計		12	100	112

家屋の被害と要介護度の変化

データの個数 / 被害状況(家屋)		被害状況(家屋)						総計
震災時の要介護度	調査時の要介護度	全壊流失	大規模半壊	半壊	一部損壊	床上浸水	被害なし	
要支援1	要支援1	1						1
	要支援2				1			1
	要介護2	1					1	2
	要介護3	1						1
1 集計		3			1		1	5
要支援2	要支援2	1						1
	要介護1	1	1				2	4
2 集計		2	1				2	5
要介護1	要支援2	1						1
	要介護1					1	1	2
	要介護2	4		1	1		1	7
	要介護3		1					1
3 集計		5	1	1	1	1	2	11
要介護2	要介護2						3	3
	要介護3	3					2	5
	要介護4	2				1		3
	要介護5						1	1
4 集計		5				1	6	12
要介護3	要介護2	1						1
	要介護3		1				1	2
	要介護4	1					2	3
5 集計		2	1				3	6
なし	要支援1	1	1			1		3
	要支援2	1						1
	要介護1	5		1			1	7
	要介護2	6		1			1	8
	要介護3	2						2
なし 集計		15	1	2		1	2	21
総計		33	4	3	2	3	17	62

データの個数 / 被害状況(家屋)		被害状況(家屋)全壊流失	
震災時の要介護度	調査時の要介護度		
			1
	要支援1	要支援1	1
		要支援2	
		要介護2	1
		要介護3	1
1 集計			3
	要支援2	要支援2	1
		要介護1	1
2 集計			2
	要介護1	要支援2	1
		要介護1	
		要介護2	4
		要介護3	
3 集計			5
	要介護2	要介護2	
		要介護3	3
		要介護4	2
		要介護5	
4 集計			5
	要介護3	要介護2	1
		要介護3	
		要介護4	1
5 集計			2
	なし	要支援1	1
		要支援2	1
		要介護1	6
		要介護2	6
		要介護3	2
99 集計			16
総計			33

今後の仮説検証に向けて

- ▶ 移動回数がトータルで3回程度に度数が多い。
- ▶ 加齢等の要因は別として、この移動3回程度の階層には要介護度認定にバラつきがあり、何らかの要因で健康格差があるのではないか。
- ▶ 要介護度の違いにより、大規模災害後における健康度に差が生じるのではないか(特に、要支援2と要介護1、要介護1と要介護2間)。

- ▶ 家屋の被害では全壊・流失による者が多い。おおむね、この階層では特に要介護度がもともとなかった階層で2つ以上要介護度が上昇している兆候が見られた。
- ▶ 調査時に要介護度が認定されていない高齢者にはおおむね移動回数が少ない傾向にあるが、要介護度が認定されている高齢者には移動の回数がおおむね多い。

今後に向けて

- ▶ 今回は限定的な内容になったが、論文化するに向けて、細かい分析を今後進めて行きたい。
- ▶ 今回は有意差に関しての処理をしていないので、今後それを含めて精査する。